

アルゴニアンの侍女 第二卷

第七幕、場面二、続き

リフト・ハー・テイル…まあ、大きなパンの塊！でもどうすれば私の炉に入るかしら？

克蘭ティアス・コルトー…このパンはまだ焼く準備ができていないんだ、愛しい人。

見てごらん、まだ膨らんでいない。

リフト・ハー・テイル…急いでできればいいのですが。どうすればいいでしょうか？

克蘭ティアス・コルトー…おお、哀れで小さなアルゴニアンの侍女よ、お前の手を使わなければならない。

リフト・ハー・テイル…パンをこねればいいのですか？ここですか？

克蘭ティアス・コルトー…もちろんんだ。

リフト・ハー・テイル…でももし奥様に見つかったら？旦那様のパンは奥様を満足させるためのものではございませんか？

克蘭ティアス・コルトー…心配するな、私の繊細な花よ。後で奥様の希望もかなえるさ。

リフト・ハー・テイル…分かりました、ですが私の炉はまだ暖まっています。時間がかかってしまいます！

克蘭ティアス・コルトー…時間はたっぷりとあるぞ愛しい子よ。そう、たっぷりとな。

第七幕、場面二、完